



9月9日(水)は救急の日

救急車の適正利用を、マイナ保険証を携帯ください

救急医療及び救急業務に対する正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識を高めることを目的に、日本では毎年9月9日を「救急の日」、救急の日を含む1週間(日曜日から土曜日まで)を「救急医療週間」と定めています。

 富士山南東消防本部
警防救急課
972-5803

救急車の適正利用をお願いします

救急車は、病気やけがなどで緊急性が高い傷病者を医療機関へ搬送するためのものです。近年、救急出動件数は増加傾向にありますが、このうち約半数は軽症者が占めています。緊急性がない人による救急車の利用が増えると、本当に救急搬送が必要な傷病者への処置や治療の遅れにつながる事が懸念されます。判断に迷ったときは「救急安心センター(＃7119)」に電話してください。

熱中症予防をしましょう

近年、地球温暖化による気温や湿度の継続的な上昇は熱中症リスクを劇的に高め、熱中症による救急搬送が増加します。熱中症は日中だけでなく夜間も、屋外だけでなく室内でも発症することがあるため注意が必要です。のどが渇く前に、こまめな水分補給を心掛け、適度に塩分も補給しましょう。また、エアコンや扇風機を上手に活用し、涼しく過ごすことが大切です。外出時は、帽子や日傘を活用し、暑い時間帯を避けましょう。特に高齢者や子どもは熱中症になりやすいため、周囲で声を掛け合いながら予防に努めましょう。少しでも体調に異変を感じた場合は、涼しい場所へ移動し、水分補給を行うなど、早めの対応を心掛けましょう。

熱中症予防のポイント

●エアコン・扇風機を適切に

- ・エアコンを利用し、部屋の温度を調整しましょう。
- ・こまめに換気する。

●こまめに水分・塩分補給を

- ・のどが渇かずともこまめに水分補給をする。
- ・塩分も摂取する。
- ・適切な食事をする。内臓環境が整い、水分・塩分を吸収しやすくなります。

●日頃から健康管理を

- ・日頃から体温測定、健康チェックをしましょう。
- ・体調が悪いと感じたときは、無理せず、自宅で静養する。

●暑さに備えた体作りを

- ・適度に運動し、暑熱対策を行う。
- ・涼しい服装に心がける。

マイナ保険証を持参し適切な処置や診療を

マイナ保険証は、医療機関での受付をスムーズに行うことができるほか、救急時には搬送先の医療機関で受診歴や服薬情報、特定健診情報などを確認できるマイナ救急にも役立ちます。本人の状況が十分に確認できない場合や、会話ができない状況であっても、必要な情報を迅速に把握できるため、適切な処置や診療につながります。救急隊員がマイナ保険証を活用し、傷病者の情報を閲覧することで、本人や家族の説明負担が軽減されます。

マイナ保険証からわかること

- 病歴
- 薬の処方歴
- 病院の受診歴

マイナ救急の流れ

